

第2次春日部市商工業振興指針

●指針策定の趣旨

前指針の計画期間満了に伴い、さらなる商工業の振興と、にぎわいと活力のあるまちづくりを推進することを目的に策定

●指針の位置づけ

前指針を継承し、春日部市商工業振興基本条例における商工業の振興に関する基本理念を実効性のあるものとするための、商工業振興の基本的な方向及び施策を取りまとめたものとして位置づけ

●指針の期間

2018年度（平成30年度）から施行し、5年を目途に見直しを検討

●策定にあたって

個店や商店街に関するアンケート調査や工業関係者へのヒアリングを実施

わが国の商工業を取り巻く環境

人口減少、超高齢社会の加速度的進行

産業のグローバル化の進行

高度情報化社会の進展

ライフスタイル価値観の多様化

観光立国の実現

本市の商工業を取り巻く環境

少子化、高齢化の進行

郊外大型店の進出

ユビキタス社会の推進

消費者ニーズの多様化

都市型観光の推進





商業の将来像

「地域に愛され、活気に満ちた商業の展開」

方策1

魅力と個性のある個店づくり

- 「春日部らしさ」の追求
- 積極的な情報発信

方策2

発見とにぎわいのある商店街づくり

- 組織の活性化と後継者の育成
- 空き店舗対策と業種構成の充実
- 中心市街地及び各駅周辺の活性化

方策3

地域に愛される商店街づくり

- 地域の居場所づくり
- 安心・安全に向けた環境整備

方策4

高度情報化社会への対応

- ホームページの開設、SNSの活用
- 電子商取引への対応

将来像の實現

本市商業の現状

- ・事業所数 20.1%減、従業員数 12.4%減
- ・売場面積 9.9%増、年間商品販売額 6.9%増
- ・「飲食料品」が最も多く、続いて「織物・衣服・身の回り品」、「機械器具」、「無店舗」
- ・売場面積 1,000 m²を超える大規模小売店舗が 35 店舗立地
- ・商圈は拡大傾向

(※平成 26 年埼玉県商業統計調査結果より)



本市商業の課題

- ・人口減少、超高齢社会への対応
- ・後継者不足と空き店舗の増加
- ・安心・安全に向けた環境整備
- ・中心市街地をはじめとする商店街の活力低下
- ・高度情報化社会への対応



工

業



工業の将来像

「地域力を高める活力と魅力ある多彩な工業の展開」

方策1

春日部ブランドの確立とPR

- 地域ブランドの創設
- 積極的な情報発信

方策2

次世代リーダー（後継者）の育成と人脈づくり、人材の確保

- 次世代リーダー（後継者）の育成
- 人脈づくりと人材の確保

方策3

伝統産業・技術の継承

- 販路拡大とPR
- 後継者の育成
- 技術の継承

方策4

創業の支援と新産業の誘導

- 創業への支援
- 新産業の誘導

将来像の実現

本市工業の現状

- ・ 事業所数 0.4% 減
- ・ 従業者数 1.8% 増
- ・ 製造品出荷額等 12.5% 増
- ・ 「食料品」が圧倒的に多く、続いて「パルプ・紙・加工品」、「業務用機械器具」、「生産用機械器具」、「化学工業」、「金属製品」
- ・ 4～9人の小規模事業所が主体

(※平成26年埼玉県工業統計調査結果より)



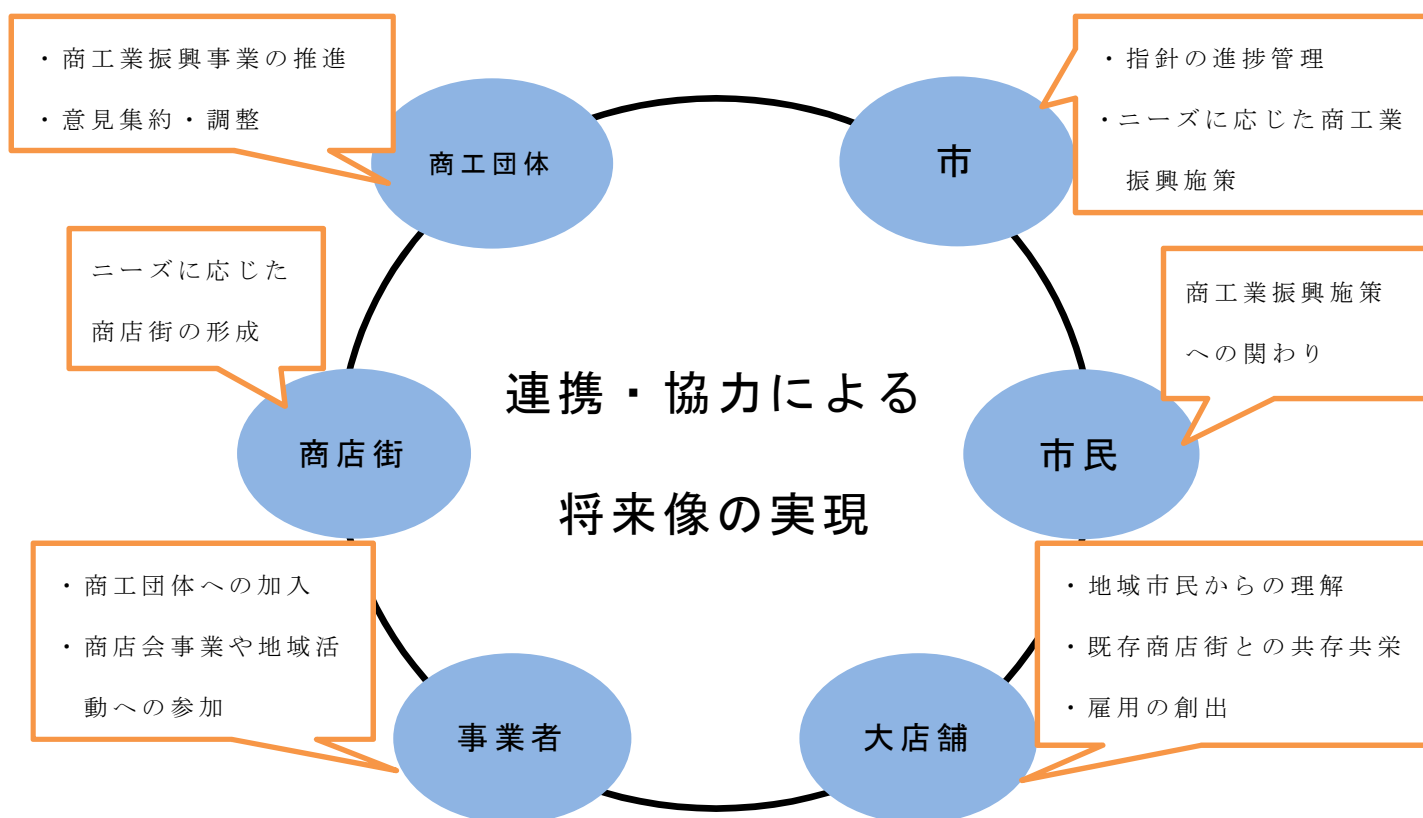
本市工業の課題

- ・ 労働力の減少と従業員の高齢化
- ・ 後継者不足と人材育成
- ・ PR不足と販路の開拓
- ・ 新規産業・創業の創出
- ・ 伝統工芸品産業の継承
- ・ 同業種・異業種間の連携強化

観光的側面からの商工業振興策

- 点から線へ・・・観光ルートの開発
- 産官学金労言士連携による観光資源・土産品の開発
- 観光情報の積極的な発信
- インバウンド（訪日外国人旅行）対策
- 宿泊施設の充実
- プラスワンのおもてなし

◆将来像の実現に向けて◆



第2次春日部市商工業振興指針（概要版）

編集：埼玉県春日部市環境経済部商工観光課

作成：2018年（平成30年）3月

